

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	奈良町宅地耐震化推進事業												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和04年度 (2年間)												
交付対象	奈良町												
計画の目標	大規模盛土造成地調査(第一次スクリーニング)で抽出された5か所に対し、第二次スクリーニングの計画を作成(現地踏査・優先度評価)し、優先度の高い箇所において第二次スクリーニング(地盤調査等)を行い、今後の滑动崩落防止対策につなげることで安心して生活できる地域づくりを推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	12	A	12	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3	R4	R4
1	大規模盛土造成地5か所の安全性の公表率を20%にする。 大規模盛土造成地5か所の安全性の公表率	0%	20%	20%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	<input type="radio"/>	避難行動要支援者名簿の提供	<input type="radio"/>
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	-----------------------	---------------	-----------------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	奈義町	直接	奈義町	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	大規模盛土造成地の変動予測 調査(マップの見直し、第二 次スクリーニング計画の作成 、第二次スクリーニング)	奈義町						12		-	
												小計						12		
												合計							12	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 奈義町地域整備課により事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和5年10月
	公表の方法 奈義町ホームページ掲載により公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第一次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成地について、第二次スクリーニング計画を策定し、優先度の高い1箇所において第二次スクリーニング（地盤調査、安定計算等）を実施、安全性を公表したことで、安心して生活できる地域づくりに寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
大規模盛土造成地全5箇所のうち4箇所は常時湧水、地下水が確認されなかったことから当面第二次スクリーニングは実施しないが、変状等が確認された場合などは第二次スクリーニングの実施を検討する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	20%
	最終実績値	20%